

広報さとる



発行日:2023年7月28日(NO.035) 発行所:トヨタ自動車労働組合
発行人:鬼頭圭介 編集人:井出さとる 印刷所:(株)トヨタエンタプライズ

無償化事業を 全体最適で考えるのは 本当に難しい!

様々な選挙のたびに「〇〇を無償化します!」のような華やかな言葉が踊ります。医療費だったり、給食費だったり。確かに一時的に当事者の負担は減りますから、幸せのような気がします。

しかし例えば、自治体が実施する「子ども医療費の無償化」に対して、厚生労働省は医療費が膨張するとして、実施している自治体の国民健康保険(国保)の国の負担を減額していました。

国の負担が減額され、国保の給付で国保財源が不足した分の補填を、自治体の市税で賄う「法定外繰入」で行えば、結果、働く仲間の納税によって国保財政を維持することとなります。

国保財政維持のために市税を繰入れすれば、結果、自治体の他の施策に穴が開くこととなります。

「はあい6月号」では、健康保険組合の記事が紹介されましたが、働く仲間からお預かりする保険料のおよそ50%は後期高齢者医療事業に対する「納付金」として国に納めていることも紹介されています。

医療費無償化政策により、貧困世帯などで医療費の負担があることで、医療を受けられない子どもなどが救われます。(市税を非課税、国保保険料の免除などのセーフティネットもあり。)

一方で、子どもの医療費無償化によって、国保、健保の双方の保険給付が増額すれば、働く仲間は「市税」「健保保険料」の両方で負担増となる可能性もあります。医療費無償化が与える影響に対し全体最適の視点で考えることも重要ですが、本当に難しいです…。

(KABAnetホームページ)



岩波駅周辺の 整備事業が始動!

岩波駅周辺のまちづくりや賑わい創出のための取り組みが進んでいます。短期整備計画に位置付けている岩波駅周辺は、駅前ロータリーなどの公共機能のほかに、民間開発も視野に入れた魅力ある駅前空間の実現を目指しています。

現在、地権者や地元の方々の多大なるご理解のもと、造成などの工事が着々とすすんでいます。今後、民間事業者からまちづくりや賑わい創出のアイデアなども受けながら、事業を進めていきます。短期整備計画の部分の完成は、2026年度中を目指して進んでいます。

日々変化が見えると思いますので、楽しみにしてくださいませ!



(裾野市公式ウェブサイト)

学校の統廃合 子どもたちの教育に ふさわしい環境って？

裾野市でも少子化や転出超過の影響により、子どもの人数が急激に減少しています。令和4年4月1日現在の裾野市の0歳児人数は281人、11歳(中1)で464人と10年でおおよそ4割減少しています。

望ましい教育環境について、裾野市教育委員会が審議会に諮問し、「児童生徒が集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力を育み社会性や規範意識を身につけることができる環境」と提言し、クラス替えができる規模がふさわしいとしています。

市内のある小学校区では、令和4年4月1日現在の0歳児が4人、1歳児が3人で、6年後の2029年度には小1、小2の複式学級でクラス人数が7人という状況になります。ワタシの子どもも、小規模学級

学校教育施設再編計画 について

保護者説明会

これからの学校について
ご意見をお聞かせください

通学路は安全じゃないと！

今年の小1年生は8人のの！？

中学校でなじめるか心配だわ

ほんとはサッカードよかった！

1/13(木) 高学年
1/18(火) 低学年
時間：15時30分～
場所：多目的室

出身ですので、定性的に言われる「小規模校の良さ」を感じることはあります。学校再編説明会には現役世代の出席が少ないと聞いています。「自分の子どもには関係ない」という声も聞こえてきます。

将来の子どもたちに、どのような教育環境を残すことが、子どもにとって良いことなのか。「親として子どもに学ばせたい環境」はどのような環境なのか。大人が真剣に、子どもたちに残す教育環境について考える時が来ています。

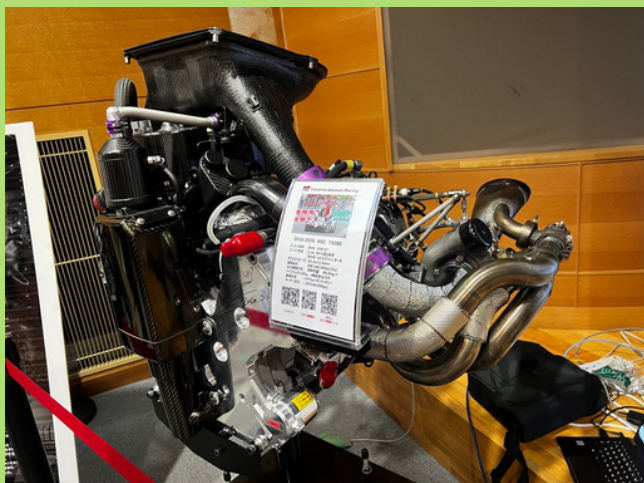


(裾野市公式ウェブサイト)

ル・マン24時間レースのパブリックビューイングが 技術者の「まち一番」の熱意で実現！

東富士研究所で、モータースポーツのパワーユニットの開発が行われている事を裾野市民は殆ど知りません…。(もったいない)

ル・マン24時間レースは、100周年の記念大会ということで、「Made in SUSONO」のパワーユニットが世界の頂点を目指して闘う姿を観戦して欲しい！モータースポーツの迫力や臨場感を実感



して、クルマをもっと好きになって欲しい！との東富士研究所の技術者たちの熱意が、裾野市とコラボしてのパブリック・ビューイングを実現させました。

会場の生涯学習センターは、立ち見が出る程の大盛況で、技術者からマニアックな開発の話も聞けて、質問コーナーではお子さまからもマニアックな質問が飛び出しました！この熱気がモータースポーツ振興と裾野市の賑わいになりますように！